

自衛隊警備犬ってなに？



自衛隊の警備犬とは基地等の警備を担当する犬のことです。
近年は警備だけにとどまらず、大規模な災害地に赴き、
捜索などの人命救助活動でも活躍しています。



主な任務

基地内を巡回警備し、
異常がないか確認します。

基地警備

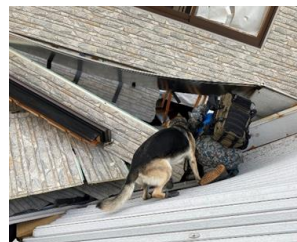


不審者確保

ハンドラーの命令で警備犬
は不審者の腕に噛みつき、
振り回されても離しません。

爆発物には種類があり、臭気が
違いますが、訓練を積んだ警備
犬は、**20種類以上**の爆発物
を嗅ぎ分けることができます。

爆発物探知



人命救助活動

令和6年能登半島地震に
係る災害派遣の際に
捜索活動を実施しました。

警備犬と一緒にいるハンドラーって？



ハンドラーは、担当する警備犬と寝食を共にし、信頼関係を築き、
その警備犬と共に警備や人命救助等の任務に就く
お仕事です。ハンドラーは主に自衛官が務めており、警備犬にとって
任務遂行のパートナーであり、かけがえのない存在です。

自衛隊でハンドラーをめざすには？

警備犬は現時点において海上自衛隊と航空自衛隊にあり、
例えば航空自衛隊では、ハンドラーは**警備特技員**として勤務
しています。航空自衛隊の警備特技員は、基地や施設の警備を
担っており、部隊配属後に「警備犬を扱いたい」という希望を伝える
ことで、ハンドラーをめざすことができます。

